

世界文化遺産登録推進事業

平成30年度予算要求額 61,639千円

事業目的

平成29年に百舌鳥・古市古墳群は国の世界文化遺産推薦候補に選定されました。平成31年度の登録に向けて、大阪府、羽曳野市、藤井寺市と共同で世界文化遺産登録のためのイコモスによる現地調査の準備・対応、さらなる機運の盛り上げや保全意識の醸成に向けた取組を行います。

平成30年度の主な取り組み

【新規】イコモスによる現地調査等にかかる対応

(平成30年度は、諮問機関であるイコモスにより、夏ごろに予定されている現地調査や12月ごろに予定されている勧告の中間報告への対応。世界文化遺産登録の可否を決定するユネスコ世界遺産委員会への視察などを行う。)

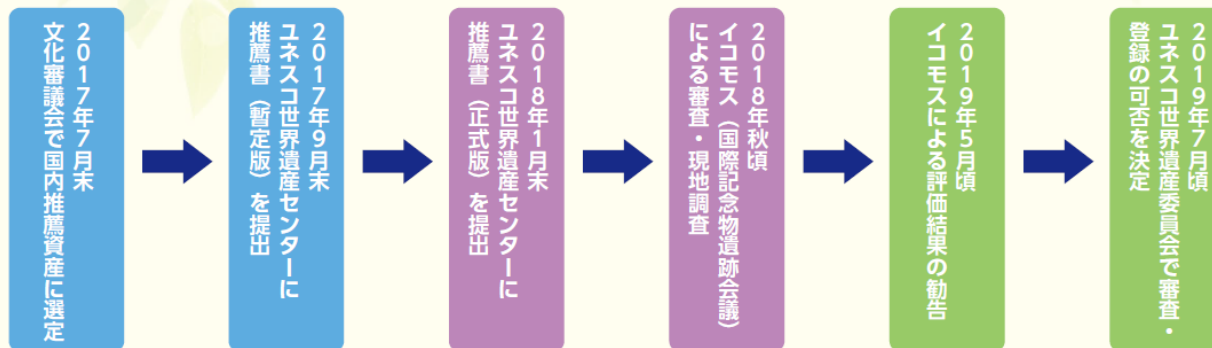
【新規】市民考古学講座 中級編

(古墳群に関する知識をより多くの方に修得していただく市民講座。平成29年度は初級編のみであったものを拡充実施する。)

【新規】古墳学習用ツールの作成

(将来を担う子どもたちに、百舌鳥・古市古墳群の理解を深めていただくため、古墳学習用のツール作成を行う。)

－世界文化遺産登録までの流れ－



目標とする成果

- 日本全体に登録機運の輪を広げる。
- 次世代への継承を目的とした学校と連携した古墳学習
- 平成31年の世界文化遺産登録